

全 空 連 第443号
2019年11月12日

各都道府県空手道連盟事務局長 殿

公益財団法人 全日本空手道連盟
専務理事 有 竹 隆 佐



第75回国民体育大会空手道競技「形競技」の判定方法変更について

平素より本連盟の諸事業に対しご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、2019年度より形競技の採点方法が旗判定から採点方式に変更になり、
本年第47回全日本空手道選手権大会に於いても採点方式にて実施することにな
っております。

つきましては、国民体育大会も鹿児島県大会より採点方式を採用することにな
りました。本連盟の競技規定を基に国民体育大会の実施内容に沿って作成いたし
ましたので、ご確認いただき貴所属の関係者に共有していただきますようお願い
申し上げます。

《本件に対するお問い合わせ》

指導普及課：国体担当 大 井 悠 矢

TEL：03-5534-1951

FAX：03-5534-1952

E-mail：y-ohi@chic.ocn.ne.jp

【国民体育大会形競技の実施方法】

形競技

ア. 予選(R1)、準決勝(R2)、3 位決定戦、決勝戦の順に競技を行う。

イ. 以下の手順によって行われる。

1. 予選(R1)は 4 つのグループに分け、形 1 つを演武し、得点を与えられる。
2. 競技者人数が 18～20 名の場合は上位 2 名、21 名以上の場合は上位 3 名が準決勝(R2)に進出する。

予選(R1) の得点は準決勝(R2)に持ち越さない。

3. 準決勝(R2)は 2 つのグループに分け、形 1 つを演武し、得点を与えられる。
4. 準決勝(R2)各グループ 1 位の競技者が決勝戦へ、各グループ 2 位の競技者が 3 位決定戦に進出する。各グループ 3 位、4 位の計 4 名が 5 位となる。

ウ. 各ラウンド同点の場合は下記の事項を適用し勝敗を決める。

- 1) 技術面の得点が高い方の選手
- 2) 競技面の得点が高い方の選手
- 3) 両方とも同得点の場合、新たな形で演武を行う

エ. 一度演武した形は繰り返し演武することはできない。

オ. 予選(R1)は第 1 指定形もしくは第 2 指定形の中から選ばなければならない。準決勝(R2)以降は全空連得意形リストの中から選ばなければならない。